



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和3年3月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和3年3月5日(金)
午後2時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業
手作りの手話学習教材を市内小中学校へ配布します(資料1)
- 2 「ホストタウンアワード」で渋川市が優良情報発信賞特別賞と
ホストタウンリーダー賞を受賞しました(資料2)
- 3 令和3年度から「共生社会実現に向けた店づくり応援事業」を開始します
(資料3)
- 4 渋川市内で新たに創業等する事業主に補助金を交付します(資料4)
- 5 GIGAスクール構想の実現に向けた教職員研修を開催します(資料5)

その他資料提供

- ・「令和2年度渋川市PR動画コンテストの表彰式を開催します(資料6)」

○次回開催予定

日時：令和3年3月12日(金)午後2時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月1日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	東日本電信電話(株)群馬支店の多分野連携協定締結式	記者会見室	政策創造課
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
3月2日(火)	10:00	3月市議会定例会:開会、議案上程	議場	議会事務局
	18:00	共生社会実現に向けた中心市街地店づくりセミナー	辰巳町会館	商工振興課
3月3日(水)	10:00	3月市議会定例会:議案上程	議場	議会事務局
3月4日(木)	10:00	総務市民常任委員会	第1委員会室	議会事務局
	16:00	第7回新型コロナウイルスワクチン接種対策連絡会議	庁議室	健康増進課
3月5日(金)	9:00	退職者辞令交付式	市長室	人事課
	9:30	第50回政策戦略会議	庁議室	秘書室
	14:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	16:00	さとう麻衣さん(渋川市出身シンガーソングライター)市長表敬訪問	市長応接室	秘書室
3月6日(土)				
3月7日(日)	10:30	桐生市市制100周年記念式典	美喜仁桐生文化会館	秘書室
3月8日(月)	10:00 終了後 12:15	予算常任委員会 議会運営委員会 渡辺啓助顕彰展オープニングセレモニー	大会議室 第1委員会室 市民ホール	議会事務局 議会事務局 生涯学習課

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月8日(月)	10:00 終了後 12:15	予算常任委員会 議会運営委員会 渡辺啓助顕彰展オープニングセレモニー	大会議室 第1委員会室 市民ホール	議会事務局 議会事務局 生涯学習課
3月9日(火)	10:00	3月市議会定例会:表決、予算議案上程	議場	議会事務局
3月10日(水)	10:00 17:30	3月市議会定例会:予算議案上程 渋川市PR動画コンテスト表彰式	議場 記者会見室	議会事務局 秘書室
3月11日(木)	10:00	3月市議会定例会:予算議案上程	議場	議会事務局
3月12日(金)	9:30 14:00	赤城南中学校卒業式 市長定例記者会見	赤城南中学校 記者会見室	学校教育課 秘書室
3月13日(土)				
3月14日(日)				
3月15日(月)	10:00	3月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局

資料1

担当：福祉部地域包括ケア課 課長 遠藤 成宏 電話0279-22-2359 内線1210

「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業 手作りの手話学習教材を市内小中学校へ配布します

今年度は、新型コロナウイルス感染者拡大防止のため、市内小中学校での手話教室の開催が中止となりました。これを受け、児童・生徒が手話に親しめる機会を提供するため、「渋川市小中学校向け手話学習教材～手話で思いが伝わったまちに～」を作成しました。この教材を小中学校に配布し、活用することで、聴覚障害への理解と手話の普及を目指します。

1 背景

渋川市は、平成29年4月に「渋川市手話言語条例」を施行し、市民一人ひとりが手話について正しく理解することで、聴覚に障害がある人も自分の言葉で思いを伝えあえる共生社会の実現を目指しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染者拡大防止のため、毎年実施していた市内の小中学校での出前手話教室の開催が中止となりました。

これを受け、児童・生徒に手話を親しめる機会を提供するため、「渋川市聴覚障害者福祉協会」と「北毛地区手話通訳者協会」の協力により手作りの手話学習教材「渋川市小中学校向け手話学習教材～手話で思いが伝わったまちに～」を作成しました。

2 目的

児童・生徒が手話に親しむ機会を提供するため、手話学習教材「渋川市小中学校向け手話学習教材～手話で思いが伝わったまちに～」を市内の小中学校に配布します。この教材を活用し、聴覚に障害がある人の暮らし方や、コミュニケーションの方法、日常的に使える手話単語などを学習することで、聴覚障害への理解と手話の普及を目指します。

3 配布物

- (1) 手話学習DVD (20分04秒)
- (2) 手話学習テキスト (全13ページ)
- (3) 教員用指導案 (45分授業を想定)

4 配布日 令和3年3月5日(金) (予定)

5 その他

手話学習DVDと手話学習テキストは、市のホームページからもご覧になれます。

資料2

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

「ホストタウンアワード」で渋川市が優良情報発信賞 特別賞とホストタウンリーダー賞を受賞しました

ホストタウンの推進に多大なる役割を果たしてきた自治体を表彰する「ホストタウンアワード」において、本市が「優良情報発信賞 特別賞」、「ホストタウンリーダー賞」を受賞しました。

1 概 要

内閣官房オリパラ事務局が主催し、ホストタウンの推進に多大なる役割を果たしてきた自治体を表彰する「ホストタウンアワード」において、本市が「優良情報発信賞 特別賞」と「ホストタウンリーダー賞」を受賞しました。

2 受賞内容

(1) 優良情報発信賞 特別賞

「群馬県渋川市長 高木 勉」

ア 内 容

優良情報発信賞は、ホストタウン自治体が、ホストタウンの取組を地元住民や地域に広く発信するため、創意工夫を凝らして行った広報を対象とするものです。

渋川市は、共生社会ホストタウンに登録された10月を、「共生社会実現のまち渋川市」推進月間として集中的に各種事業に取り組み、また、「共生社会実現のまち渋川市」共同宣言を49の団体と行い、地域全体で共生社会の取組を推進していること、さらには市広報紙、地方紙、ミニコミ誌や、共同宣言団体の広報媒体などを活用した情報発信が評価され受賞に至りました。

イ 受賞数

大賞：3自治体、SNS賞：3自治体、特別賞：20自治体

(2) ホストタウンリーダー賞

「群馬県渋川市総合政策部政策創造課

オリンピック・パラリンピック共生社会推進室 主査 齋藤 大輔」

ア 内 容

ホストタウンリーダー賞は、ホストタウンの推進に貢献した自治体担当者を表彰するものです。

職員は、バリアフリーセミナーをはじめ、伊香保温泉という地域資源を生かしたユニバーサルツーリズムの推進に地元関係者と共に取り組み、また、自治体内外に積極的に情報発信を行っていることが共生社会ホストタウンの取り組みとして評価され、オリパラ事務局ホストタウンチーム職員（内閣官房）から推薦を受けて受賞に至りました。

イ 受賞者数

29名（共生社会17件、復興4件、一般8件）

3 発表・表彰等

令和3年2月20日、21日に開催された「ホストタウンサミット2021」において、2日目に「ホストタウンアワード」の発表が行われ、このたび、内閣官房オリパラ事務局より表彰状が届きました。

優良情報発信賞

◆大賞

	自治体
1	岩手県盛岡市
2	神奈川県川崎市
3	石川県金沢市

◆SNS賞

	自治体
1	千葉県旭市
2	静岡県焼津市
3	滋賀県彦根市

◆特別賞

	自治体
1	岩手県北上市
2	岩手県釜石市
3	山形県村山市
4	茨城県常陸大宮市
5	群馬県渋川市
6	埼玉県本庄市
7	埼玉県新座市
8	埼玉県三郷市
9	東京都足立区
10	東京都武蔵野市
11	東京都町田市
12	神奈川県鎌倉市
13	新潟県長岡市
14	山梨県甲府市
15	岐阜県
16	静岡県静岡市
17	滋賀県守山市
18	愛媛県
19	愛媛県今治市
20	佐賀県

オンライン交流賞

◆大賞

	自治体
1	岩手県釜石市
2	山形県鶴岡市

◆ユニーク賞

	自治体
1	東京都三鷹市
2	徳島県

◆特別賞

	自治体
1	青森県三沢市
2	青森県西目屋村
3	岩手県盛岡市
4	山形県村山市
5	福島県郡山市
6	茨城県結城市
7	栃木県那須塩原市
8	埼玉県三郷市
9	東京都足立区
10	新潟県長岡市
11	新潟県上越市
12	山梨県山梨市
13	長野県松川町
14	静岡県静岡市
15	静岡県三島市
16	静岡県御殿場市
17	愛知県豊橋市
18	愛知県豊田市
19	滋賀県彦根市
20	滋賀県守山市
21	奈良県川西町
22	広島県北広島町
23	愛媛県
24	福岡県北九州市
25	佐賀県
26	熊本県玉名市
27	鹿児島県鹿屋市

ホストタウンリーダー賞

	自治体名		氏 名	よみがな	備考
1	北海道	登別市	服部 仁	はっとり ひとし	共生
2	青森県	弘前市	齋藤 恒夫	さいとう つねお	共生
3	岩手県	矢巾町	川村 奈津美	かわむら なつみ	復興
4	岩手県	大槌町	岡本 克美	おかもと かつみ	復興
5	宮城県	仙台市	安部 愛	あべ あい	共生、復興
6	山形県	南陽市	鈴木 聡	すずき さとる	
7	福島県	福島市	渡邊 恵理子	わたなべ えりこ	共生
8	福島県	二本松市	三菅 光晴	みすげ みつはる	復興
9	福島県	猪苗代町	小林 一貴	こばやし かずたか	共生
10	茨城県	結城市	小沼 翔	おぬま しょう	
11	茨城県	下妻市	染野 昌浩	そめの まさひろ	
12	茨城県	境町	藤井 裕紀	ふじい ひろき	
13	栃木県	那須塩原市	宇都野 淳	うつの あつし	共生
14	群馬県	渋川市	齋藤 大輔	さいとう だいすけ	共生
15	埼玉県	富士見市	高見 淳也	たかみ じゅんや	共生
16	千葉県	成田市	安部 健太郎	あべ けんたろう	共生
17	神奈川県	横浜市	沼上 直輝	ぬまかみ なおき	共生
18	富山県	高岡市	上田 浩樹	うえだ ひろき	
19	石川県	金沢市	桑原 秀忠	くわはら ひでただ	共生
20	山梨県	甲府市	ファニー オランジュ	ふぁにー おらんじゅ	
21	山梨県	富士吉田市	萱沼 俊光	かやぬま としみつ	
22	岐阜県		伊藤 泰啓	いとう やすひろ	共生
23	静岡県	焼津市	松永 年史	まつなが としふみ	共生
24	愛知県	豊橋市	大桑 裕輔	おおくわ ゆうすけ	共生
25	滋賀県	守山市	藤田 ギュネシ	ふじた ぎゅねし	共生
26	兵庫県	神戸市	上山 岳史	うえやま たけし	共生
27	徳島県		秋山 孝人	あきやま たかひと	共生
28	福岡県	北九州市	岡本 洋一郎	おかもと よういちろう	共生
29	佐賀県		江島 真衣	えじま まゆこ	

資料3

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

令和3年度から「共生社会実現に向けた店づくり応援事業」を開始します

「共生社会実現のまち 渋川市」の実現に向けて、誰もが利用しやすい店づくりを目指すため、令和3年度の新規事業として、「共生社会実現に向けた店づくり応援事業」を開始します。

市内で営業している来店型店舗において、障害者や外国人等が店舗を利用しやすくするために必要な備品の購入費を、最大3万円補助します。

1 目 的

「共生社会実現のまち 渋川市」の実現に向けて、誰もが利用しやすい店づくりを目指すために必要となる備品の購入費を補助し、共生社会実現への取り組みを推進します。

2 補助対象者

市内で営業している、事務所又は事業所を置く事業者（支店は除く）

※大規模小売店舗は除きます。

※その他、風営法等に関わる条件などがあります。

3 補助対象経費

来店型店舗において、障害者や外国人等が店舗を利用しやすくするために必要な備品の購入費

【備品の購入例】

①車いす利用者、高齢者のための備品

車いす（貸出用）、段差解消機（据置型）、階段昇降機（可搬型）等

②目や耳が不自由な方のための備品

非常時警報装置、写真入り指差しメニュー、筆談ボードの作成 等

③日本語が不慣れな方のための備品

携帯型音声翻訳機 等

4 補助金額 限度額3万円（補助率3分の2）

5 予算額 60万円 ※3月議会に計上します

6 周知方法

市ホームページや「広報しぶかわ」への記事掲載、商工関係団体へのチラシの配布などにより周知します。

7 その他

本補助金を活用した店舗には、市が作成した共生社会実現のまちステッカー（右図）を配布します。

また、障害者に対応するための備品を、本補助金を活用し購入した店舗の情報については、バリアフリー情報を書き込むことのできるアプリ「WheeLog!（ウィーログ）」や、市ホームページにその情報を掲載し、店舗の利便性向上を図ります。



資料4

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

渋川市内で新たに創業等する事業主に補助金を交付します

令和3年度から、新たに「しぶかわ創業開業支援事業」を開始します。この事業は、令和2年度まで実施してきた「まちなか空き店舗活用にぎわい創出事業」と「空き店舗活用開業支援事業」を一本化することにより、市全域の創業及び開業支援を行うものです。店舗や事業所の新設又は改修に要する経費、設備・備品の購入費などを、最大100万円補助します。

1 目 的

新型コロナウイルス感染症を契機に地方の魅力が見直される中、都会から地方への人や物の流れが促進されています。そこで、魅力ある創業支援制度を創出することにより、市内での創業及び開業を促進します。

2 概 要

市内で新たに創業する人、また、「渋川駅前通り沿線（※1）」、「伊香保温泉石段街周辺（※2）」又は「敷島駅前周辺（※3）」で新たに開業する人に対して、創業や開業に必要な店舗などの新設又は改修工事費や大型備品の購入費等について補助金を交付します。

令和2年度まで実施してきた「まちなか空き店舗活用にぎわい創出事業」と「空き店舗活用開業支援事業」における新規出店者への改修費補助を「しぶかわ創業開業支援事業」に統合し、事業を一本化することにより、市全域の創業及び開業支援を行います。

なお、今回の統合により、新規の家賃支援は廃止しますが、令和2年度まで実施してきた「まちなか空き店舗活用にぎわい創出事業」と「空き店舗活用開業支援事業」における出店者への家賃は、引き続き補助します。

※1 「渋川駅前通り沿線」とは、第2次渋川市中心市街地活性化プランにおける「まちなか出店者支援プロジェクト」の重点実施エリアです。

※2 「伊香保温泉石段街周辺」とは、伊香保温泉の石段及び石段と交差する道路の周辺で市長が適当と認めたエリアです。

※3 「敷島駅前周辺」とは、敷島駅前信号から概ね200メートルのエリアです。

3 補助対象者 次のいずれかに該当する人

(1) 創 業

新たに創業する又は既に創業済みで申請時に創業の日から6か月を経過しない個人又は法人で、市内に主たる事業所などを設け、新たに事業を開始する人など

(2) 開 業

既に事業を営んでいる個人又は法人で、「渋川駅前通り沿線」、「伊香保温泉石段街周辺」又は「敷島駅前周辺」で新たに事業所などを設け、市内で事業を行う人など

4 補助対象経費

店舗及び事業所の新設又は改修に要する経費、設備又は大型備品の購入費など

5 補助金額 限度額50万円（補助率2分の1）

※「渋川駅前通り沿線」、「伊香保温泉石段街周辺」又は「敷島駅前周辺」で創業又は開業を行う場合は、限度額を50万円加算します
（最大100万円）

6 申請開始日 令和3年4月1日（木）（予定）

7 周知の方法

市ホームページや「広報しぶかわ」への記事掲載、商工関係団体へのチラシの配布などにより周知します。

8 予算額 1,489万円 ※3月議会に計上します

※令和2年度まで実施してきた「まちなか空き店舗活用にぎわい創出事業」と「空き店舗活用開業支援事業」における出店者への家賃支援分を含みます

参考

まちなか空き店舗活用にぎわい創出事業

中心市街地の活性化とにぎわい創出を目的として、「渋川駅前通り沿線」の空き店舗を活用し、新たに出店又は開業する事業者に対し、店舗の改装費や賃借料の一部を助成する事業です。

空き店舗活用開業支援事業

「伊香保温泉石段街周辺」及び「敷島駅前周辺」の空き店舗等の解消を図るとともに、商業の振興及び活性化並びに地域連携を推進するため、空き店舗等を活用して新たに出店又は開業する事業者に対し、店舗等の改装費並びに新築及び改築費、空き店舗の賃借料の一部を助成する事業です。

第2次渋川市中心市街地活性化プランにおける「まちなか出店者支援プロジェクト」

第2次渋川市中心市街地活性化プランは、第1次渋川市中心市街地活性化プランの効果検証、平成29年度に実施した基礎調査及び市民等意識調査の調査結果を踏まえて作成された計画であり、平成31年4月からの10年間を目標期間として定め、中心市街地におけるまちづくりの目標や基本方針、具体的な実施計画を掲げたものです。

「まちなか出店者支援プロジェクト」は、第2次渋川市中心市街地活性化プランで定める10のプロジェクトの内の1つであり、中心市街地での創業や開業を支援する取組です。

資料5

担当：教育部学校教育課 課長 長屋 竜太 電話0279-22-2121 内線4910

G I G Aスクール構想の実現に向けた 教職員研修を開催します

渋川市におけるG I G Aスクール構想の本格実施に先立って、市内小中学校の教職員が、タブレット端末の操作や学習支援ソフトの活用方法を学ぶ研修会を、3月9日(火)に開催します。

1 目 的

G I G Aスクール構想が本格的に実施となることから、導入される端末や学習支援ソフトの操作研修会を開催し、本市教職員の資質向上を図ります。

2 日 時 令和3年3月9日(火) 午後3時～4時30分

3 会 場 渋川市民会館小ホール

4 参 加 者 市内小中学校の教職員（参加予定者数32名）

5 内 容

タブレット端末の操作方法や導入される学習支援ソフトの活用方法について研修します。

6 渋川市のG I G Aスクール構想導入スケジュール

- ・令和元年度 大型電子黒板・書画カメラの設置（小学校14校）
- ・令和2年10月 大型電子黒板・書画カメラの設置（中学校9校）
- ・令和2年10月～ オンライン家庭学習環境整備事業開始
- ・令和3年4～5月頃 1人1台端末の導入、校内ネットワーク環境整備予定
- ・ 〃 オンライン学習通信費補助の開始予定
- ・ 〃 G I G Aスクールサポーター配置予定

資料6

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2182 内線2411

「令和2年度渋川市PR動画コンテスト」の表彰式を開催します

1 概要

市が交流人口の拡大や移住促進を目的に、映像による渋川市の魅力の発信を進めるために実施した「渋川市PR動画コンテスト」の表彰式を行います。表彰式には、5人の受賞者のうち、市内在住の2名の方が出席します。

2 表彰式

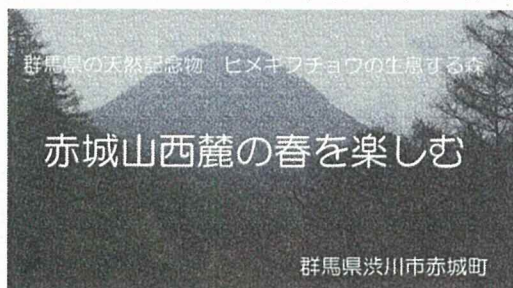
- (1) 開催日時 令和3年3月10日(水) 午後5時30分から
- (2) 開催場所 市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 内 容 受賞者への賞金と賞状の授与

3 出席者

- (1) 田部井 千圭広さん

作品タイトル：赤城山西麓の春を楽しむ

内 容：群馬県の天然記念物に指定されている「ヒメギフチョウ」の生態を紹介した動画です。関東地方では、赤城山の一部でしか見られない市の宝を、山の春の様子と併せて紹介しています。



- (2) 作者：ザカリー・テートさん

作品タイトル：渋川に来てね！

内 容：伊香保温泉、水沢うどん、へそまつりなどの市の魅力を紹介した作品です。全編が英語のナレーションとなっており、日本語の字幕をつけて多くの人に伝わりやすい作品になっています。



- 4 問い合わせ先 秘書室広報戦略係（電話0279-22-2182）